

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業年金、株高・円安追い風 23年度利回り3年ぶり高水準

・株高や円安が企業年金の運用の追い風になっている。2023年度の運用利回りは8.32%と、新型コロナウイルス禍からの反動で急回復した20年度以来3年ぶりの高水準となった。母体企業の財務負担の軽減につながる。今後も好調な運用が続けば加入者への還元も課題になりそう。

◆経常黒字2月2.6兆円 車輸出伸び、訪日客押し上げ

・財務省が8日発表した2月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は2兆6442億円の黒字。自動車輸出が伸びて貿易赤字が縮んだほか、訪日客の増加が旅行収支の黒字を押し上げた。経常収支は輸出から輸入を差し引いた貿易収支や、旅行収支を含むサービス収支、第1次所得収支などで構成。

◆倒産9年ぶり9000件超 23年度、平時への新陳代謝活発

・2023年度の全国の企業倒産件数が9年ぶりに9千件超。新型コロナウイルス下の手厚い資金繰り支援で生き延びてきた企業の淘汰が増えているため、24年度は倒産が1万件を超えるという予測も。倒産の増加は物価高や人手不足に苦しむ中小企業の苦境を映す一方で、政府の非常時の支援が終わりを迎え、平時への新陳代謝が活発になってきたサインでもある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「年度末集中」解消へ新指標 公共工事、働き方改革を推進

・国土交通省は、地方自治体が発注する公共工事の実施時期が年度末に集中するのを防ぐため、新たな指標を作成する針を固めた。繁忙期を分散することで、働き方改革につなげる狙い。予算を年度内に使い切る単年度主義の影響が指摘されており、同省はこれまでも是正に向けて、予算を繰り越して使える手続きを推奨するなどしてきた。

◆シナネン、CO2実質ゼロの燃料販売 法人向け

・燃料商社のシナネンホールディングス(HD)は、二酸化炭素(CO2)排出量が実質ゼロの燃料の販売を法人向けに始めた方と発表。CO2排出量の削減分を売買する「カーボクレジット」により、燃料の供給過程で排出されるCO2を相殺。シナネンHDの子会社で石油製品などを販売するシナネンが進める。ガソリンや灯油、軽油、重油が対象。

◆ヤマト「置き配」本格解禁 24年問題深刻、再配達を削減

・ヤマト運輸は8日、不在時に玄関前などに荷物を置く「置き配」サービスを6月10日から本格的に始めると発表。これまで受取人の在宅時や一部の電子商取引で購入した荷物のみ置き配を認めていた。ドライバー不足が深刻化する「2024年問題」の影響が広がるなか、再配達の削減に向け踏み込む。「宅急便」と小型の荷物を運ぶ「宅急便コンパクト」で開始。

《 注目商品 》

■パロマ ビルトインコンロ WITHNA(ウィズナ)シリーズモデルチェンジ

・「一緒に暮らしたくなるようなコンロ」が語源のWITHNA(ウィズナ)は、丸ボタンの点火ボタンを搭載したスタイリッシュなデザインの、人気のシリーズです。この度新たに、デザインの変更、感震停止機能やコンロタイマーなどの機能を追加し、より使いやすく。



■フクビ化学工業、浴室床シート「あんからプラス」に色柄追加

・「あんからプラス」は、浴室やユニットバスの既存の床に直接貼れるリフォーム用の浴室用床シート。独自開発の発泡層が高い衝撃吸収性と断熱効果を備え、表面のエンボスにより滑りにくく、安全で快適な浴室空間を演出。新柄「クリーム」、「ピンク」、「ライトグレー」の3色を追加。



■YKK APが真空ガラス入り内窓

・内窓に真空ガラスを組み込んだ「マドリモ 内窓 プラマードU 真空ガラス内窓」を4月8日発売。パナソニック ハウジングソリューションズの真空断熱ガラス「Glavenir(グラベニール)」を組み込んだ内窓。ガラスは6.1mm(3+真空層0.1+3mm)。熱貫流率1.1W/(m²・K)と高断熱性能を実現。

